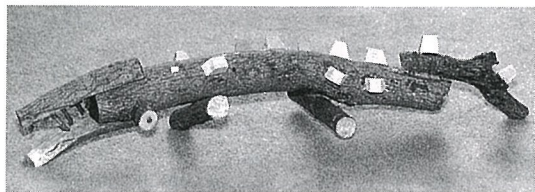


※自然の木を使
つて、ワニを
作りました。
木が固くて釘
を打つのが大
変でした。

4年
伊藤冬美さん

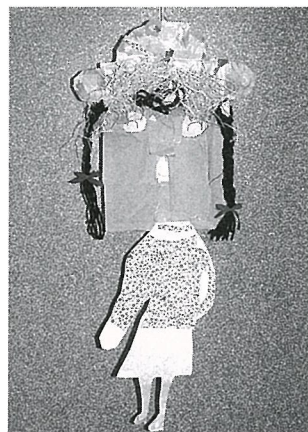


『ふしぎな生き物』



1年
市原美可子さん

※かみのけをつ
けるのが、お
ずかしかった
です。



『うごくにんぎょう』

あつまれ みんなの 力作



『春だよ出ておいで!』



5年
宮本怜奈さん

※顔や手を形通
り切るのがお
ずかしかった
です。手が良
くつけられて
よかったです。

※空き箱を利用
して、カバの
帽子を作りま
した。目や口
がともかわ
いいです。

2年
伊藤弘樹くん



『へんしんぼうし』



5年
渡邊真一くん

※秋の栗山川は
がまのほやこ
スモスが映い
て、ぼくの太
すきな所の一
つです。

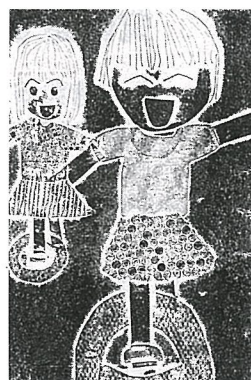


『秋の栗山川』



3年
伊藤千尋さん

※私は友達と一
輪車に乗るこ
とが大好きで
す。楽しい様
子を版画にし
ました。



『一輪車大好き』

評者吟
排水路溝川と化し二月尽

短評
椎名しげる

鈴木とし子(宝米)
親友の去りし座敷の余寒かな
鈴木 都根(橋場)
八十の齢をかばう春の風邪
越川せつ子(篠本)
池の面に弛みし綱や雪柳

伊藤 幸枝(尾垂)
春の旅一枚硝子の海光る
視点を春光耀く海原から、一枚硝
子に映る海光に置いた事で诗情が
より深まった。

山崎 てい(二又)
屋根退る雪に目覚めり独りかな
雪の夜の怪音に目を覚まし、独り
身の寂寥感、孤愁の心情が座五に
適確に表白された。

川島 重一(尾垂)
春寒や学童ビルを傾け画く
高点句の一つである。ただ詠嘆の
切れ字「や」は強意を表わすしと
したい。

